



2018 オートバックス全日本カート選手権 OK 部門 第 7 戦・8 戦

開催場所 スポーツランド SUGO (宮城県)
開催日 9 月 8 日・9 日
参加台数 OK クラス 26 台
天候 晴れ
路面状況 レイン(第 7 戦予選はドライ)

～INTREPID JAPAN CORSE～

監督:佐藤奨二 ドライバー:佐藤巧望/水野皓稀
メカニック:伊藤進/橋本剛基
エンジン担当:K SPEED WIN
アドバイザー:井上寛之



2018 全日本カート選手権は終盤 秋の東北へ(スポーツランド SUGO/第 7& 8 戦)

2018 年度の全日本カート選手権は終盤、舞台は例年 INTREPID チームが好成績を収めている宮城県はスポーツランド SUGO へ。佐藤巧望は昨年ここ SUGO で 5 位に入っている。例年シャーシの相性も良く期待が持てる。また今年度より新加入のも水野皓稀はここまで全てのコースが初めてではあるが、随所に光るものを見せ、表彰台まであと一步の成績を収めている。もちろんここ SUGO も木曜日が初走行。しかし練習中のラップも上々で再び表彰台争いに期待がもてる。



佐藤 巧望選手

水野 皓稀選



【タイムトライアル】 佐藤 A 組 8 位 / 水野 B 組 8 位



9 月 8 日土曜日は朝から雨模様・・・しかし午後以降は雨もやみ急速に路面は乾いていく。タイムトライアルは走行を行えば行くほどコンディションが良くなることから明らかに B 組が有利・・・佐藤は A 組の 8 位となったが全体では 19 位となった。しかし A 組内でもあと 0,1 秒のタイムアップで 3 位となるだけに、またラップの仕方によっては、そのタイムが十分可能であっただけに少々残念。また、普段クレバーな走りができる水野であったがこのタイムトライアルに関しては場所取りが悪く、綺麗なラップがとれず 8 位・・・こちらも残念ではあったが、B 組のアドバンテージを活かし、全体の 9 位でタイムトライアルを終えた。

【第 7 戦 予選】 佐藤 23 位(リタイア) / 水野 17 位(リタイア)

8 日、土曜日は第 7 戦の予選まで行われる。天気は持ちドライタイヤを履きレーススタート。スタート直後、1 コーナーと 2 コーナーでアクシデントとコースアウトがおこるが、2 選手とも巻き込まれることなくまずまずのスタート。水野は序盤からペースが良く、他の名門チームや強豪選手を従え順位を上げる。一方の佐藤もタイムは水野同様出ているものの、後方のグチャグチャしたレース展開に巻き込まれる。次第にペースが落ち、なんとコースアウト・・・。自力でピットに帰ってきたものの原因はホイルのエアバルブからのスローパンク。想像を超える負荷がかかるこの OK クラスでは通常考えられないトラブルが起こる・・・。一方の水野は着実に順位を上げ 5 位争い。しかしファイナルラップのゴールまで残り数百メートルというところで接触・・・。無念のリタイアとなってしまった。



【第 7 戦 決勝】 佐藤 23 位 / 水野 20 位



日が変わり 9 日、日曜はなんと天気予報の曇り予想から一転、終日雨マークへ・・・。チームは昨日の予選のドライ路面をイメージし調子もよかっただけに、ここにきての雨模様は不安であった。朝の公式練習ではかなり厳しいタイム。タイヤを上手く使えるだけの入力が出ていないと判断し、チームはフロントのアッカーマンの変更やリアハブをさらに高剛性のものへ変更。タイヤへの入力を最大限にできるようにセットアップ。しかしレースがいざ始まると、いつまでたってもグリップに繋がらない・・・。2 人のドライバーに非常に厳しいレースをさせてしまい、佐藤は 23 位、水野は 20 位となった。



【第8戦 予選】 佐藤 23 位 / 水野 17 位

第8戦の予選も同じく雨。チームはシートやシャフト、ホイールなどタイヤへの入力をより強くする方向へ一層のセッティング。これ以上ないほどの雨セット、しかし天候は不利と思われる低気温へととなっていき、なんと15度……。レーススタートからやはり厳しい……。レースとしては同じ症状で苦しんでいる選手とバトル。しかし最後まで症状は改善せず予選終了。もはやセッティングとしてはこれ以上はない状態……。あとは決勝の天候が少しでもドライ方向に向かえば、突然面白いレースができるのだが……。



【第8戦 決勝】 佐藤 20 位 / 水野 16 位



9日午後から雨は上がり始めるが気温は非常に低く、他のクラスのレースが行われても路面はドライにはならなかった。水たまりは無いものの路面は濡れた状態でレーススタート。レース直後から強豪選手がスピンアウトするほどのコンディション。予選よりもいい方向へと向かうと思われたラップタイムも予選より差が開き、予選同様同じ状況の選手とレースするに留まってしまう。本大会は運にも見事に見放され手の打ちようがない状態になってしまった。次戦は最終戦、鈴鹿大会。鈴鹿サーキットでは過去にもワールドカップや全日本で数々の勝利を重ねたサーキット。2人のドライバー、メカニック、チームとともに有終の美を飾ります。どうぞ引き続きご声援よろしくお願いいたします。

INTREPID JAPAN CORSE 佐藤奨二 監督



今回も入念に準備して臨んだSUGO大会でしたが、レインコンディションでの対応が上手くいかず、とても残念な結果となってしまいました。今回の課題を克服する為に最終戦までにしっかり分析・対応をして力強い戦いが出来るようにチームとして準備を進めていきます。最終戦の鈴鹿大会は二人のドライバーが得意とするコースなので最後はしっかりリザルトを取れるようチーム一丸で頑張ります。

ドライバー 佐藤巧望 コメント



第7戦

タイトラの位置取り、運もダメで、予選は19番手スタートとなってしまいました。予選がドライでまともに走ればペースは良かったと思うのですが、タイヤのエアアーが抜けてしまい、リタイアとなりました。

決勝はレインで、トラクションがとにかく無く、どう対応することも出来ずに、リタイアでした。

第8戦

予選のスタートで順位を上げましたが、7戦同様どうする事も出来ずに、ズルズル後退してしまいました。

決勝はセット、ドライビングをアジャストしようとしたのですが、何をやってもダメで、7戦と同様の結果になってしまいました。マシンの相性の良いと思っていたコースでしたが、どうすることもできませんでした。

鈴鹿は個人的にも好きなサーキットなので、鬱憤を晴らしたいと思います！

ドライバー 水野皓稀 コメント



今回の第7戦、8戦では7戦の予選だけドライコンディションでその他はレインコンディションのレースでした。

ドライコンディションの予選ではペースはそこそこ良かったが自分のミスにより最終ラップでクラッシュしてしまい、レインコンディションではセットを大幅に変更したりしたがグリップ感が得られず苦戦を強いられました。

次回の鈴鹿は自分が得意なコースなので絶対に結果を残せるように頑張ります。

